

# 上ノ加江小学校教育構想

## 1. 学校教育構想



## 2. 学校教育目標 『 自信をもって行動できる児童の育成 』

### めざす児童像

- (1) 心も体も元気な子ども
- (2) 自分や仲間を大切にする子ども
- (3) 進んで学習する子ども
- (4) 地域が好きな子ども

## 3. 学校経営方針

高知県並びに中土佐町の教育行政方針に則り、地域や学校の実態、児童の特性を十分に考慮して学校教育目標に「自信をもって行動できる児童の育成」を設定し、「知・徳・体の調和がとれ、郷土に誇りがもてる児童の育成」を目指して教育課程を編成する。その中でも特に、次の4点を重視しながら全教職員が「チーム学校」として、理念と目標の共通理解を図り、組織的、協働的に取り組む。また、厳しい家庭環境の児童に寄り添い、学校、家庭、地域が連携を図り、協働して児童を変容させ、将来の夢や希望が達成されるような組織づくりに専念する。

### (1) 基礎学力の定着と学力の向上を図る

複式の授業形態における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。そして、学校全体で子どもたちの実態を適切に把握し、教育内容や時間の配分、人的・物的体制の確保などを通して学習活動の質を向上させる。それにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養を目指す。

子どもたちは、無限の可能性と純粋で優しい心を持っている。その子どもたち一人一人の個性や様々な発想によって「たくましく、心豊かに生きる力」「自ら学ぶ意欲をもって課題を解決しながら生きる力」を育て、自分に自信のもてる児童の育成を図る。

### (2) 豊かな人間性を育てる

いかに社会が変化しようとも、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力が子どもたちには必要であり、また、自らを律しつつ他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性も必要である。そこで、道徳並びに人権教育において、児童の発達段階や特性を踏まえ、学校、地域の実態等に応じた計画的、継続的な学校全体での指導を通して豊かな人間性の育成を図り、人を大切にすることや自分自身を大切に思う児童の育成を図る。

また、ふるさとに対する思いを育み、人とのつながりや感謝の気持ちをもち、将来にわたってふるさとを誇りに思い大切にできる児童の育成を図る。

### (3) たくましい心と体を育てる

自ら進んで運動に親しむとともに、何事にもあきらめない心を身に付け、心身ともに健康でたくましい子どもの育成を図る。また、自らの判断で危機を回避する能力を備えることにより、自分自身の命を守り、健康で安全に、安心した学校生活を送ることができる。そのような子どもたちを育てる環境づくりを目指した取組を進め、自分の命は自分で守ることのできる児童の育成を図る。

### (4) 保護者や地域に開かれた学校を目指す

保護者をはじめ、地域の方々や各種団体との連携を深め、保護者・地域・学校が一体となって、「上ノ加江の宝」である子どもたちの心と体の健全な育成を図る。そのためにはコミュニティースクールとして情報を発信し、家庭や地域住民が学校での児童の様子を知る機会を積極的に設ける。そして、協力体制による連携した活動を通して、地域の学校としての役割を果たしながら児童の育成を図る。